

新編水滸畫傳

八編

十





新編水滸 門 875 卷 80

新編水滸 画傳卷之八拾

東武 高井蘭山公羽 譯編

明治三十七年 十月十日 譯末

○宋江大小紀山軍の勝

宋江初年小依く兵用と高議小乃び処小盧俊義及び河州の降  
將未各西京小向んと乞々ね宋江に依りて廣後義と大将として北  
口人の猛將五万の軍馬と添く西京小向りてむと依りて八都軍師朱  
武揚志徐寧索超孫立單廷珪魏定国時速揚春燕青解珍解  
宝鄒潤鄒潤薛永李忠換春施恩韓將喬乃清馬吳孫安下祥  
山士奇唐斌なり。次の日宋江小辭り。右西京小を祭以扱宋江と  
史を務弘歐鵬鄧飛小二万の軍馬と添く山南の株とせりしめ自  
多くのおと引を努めく八万金結荊南小向ひ毎日乃と六十里は

新編水滸画傳卷之八拾



陳おしこる所おもねとなく。兵馬己小紀山の地小動く屯せり。  
 紀山の都南のわわく重法こ山よ小絨於李讓二方の兵馬と飲し法  
 ち。是李ゆの徑よて王慶宣接使小封け時李ゆ小妻し告れ  
 と。大子孫さ王慶小奏まれば王慶大子怒り。常江水注の系冠へんを  
 摺振たるとて於智杜堂小十二人の猛於二方の兵馬と必く西系と救  
 しぬ。統軍附小十二人の猛於二方の軍をと添く初直と救つぬ。統  
 二小ニテ木の玄指と運送せしむ。常江合して李讓の城中の勇於下  
 小も勇於後し尋考小るべと嚴令し次の日秦明董平。徐寧。呼  
 延灼。張清。丈ぬ令鼎。黃城。ホ二方の兵をといく紀山の下小押おのまら。  
 李讓の強刀馬勁。袁朗。勝。殺。孫。截。と九右小從へ二方の兵を引く山小  
 切り白面等令鼓喧く。新旗風小翻り。絨於喜。綱。去。小馬と出くけり。

將小令鼎黃城。逢。殺。ひ。喜。朗。令。鼎。と。付。お。け。る。左。小。黃。鐵。怒。く。喜  
 綱と付んと殺ひるる。黃城も於小生授も。秦明をてお。殺。女。於。讓  
 英。次。小。令。軍。の。風。冠。と。戴。さ。紅。羅。の。戰。袍。と。着。し。戦。と。挺。る。と。見。て。絨  
 於。孫。殺。陳。亦。小。出。大。小。笑。く。云。常。江。の。水。小。是。も。冠。なり。軍。中。小。女。と  
 みる中。三尖刀と揚し。讓。英。と。戦。小。女。於。祥。負。く。逃。れ。ば。孫。殺。大。小  
 喝く。追。不。時。石。子。と。飛。し。鼻。梁。と。お。れ。孫。殺。馬。より。落。る。と。讓。英。も  
 と。同。し。唯。一。戦。小。突。殺。只。孫。殺。兒。と。殺。し。切。る。と。呼。延。灼。亦。お  
 戦。小。王。師。李。讓。孫。殺。小。焜。わ。んと。軍。と。收。め。双。斧。を。引。お。る。翌。日。兵。用  
 が。針。よ。て。魯。智。深。武。松。李。達。ホ。十。口。人。山。下。の。小。池。より。山。の。後。小。起。り。表  
 ち。より。山。塞。小。攻。入。ぬ。魯。智。深。を。小。李。讓。と。付。お。喜。朗。の。火。炮。小。中。て  
 死。し。馬。勁。孫。殺。小。兵。小。付。き。馬。強。刀。の。逃。は。絨。軍。大。軍。付。き。紀。山。忽。り



落去しつれぬ宋江山より令殺柳某と知く二軍分ちて大を  
 引く山寨と焼拂い尊智深以下の功を記しむ。さうして廣後義大を  
 西系小を奔しつる小方考の賊將武火城と敵し海系一を引宋朔  
 小飯塚の考多るれば日と強く西系城三十里伊園山の下小引く也。城  
 中の動靜と伺ふ。王師ハ偽宣使藝端及び統軍美務小猛將數  
 人と從へく流る。美務ハ勇く陳法の全妙と極と。廣後義大武  
 と針く循環八卦の陣とばして待知ふ。美務ハ李某師が六花の陣と  
 かり兼武又陳法小連すれば忽ち六花の陣と破り揚志主軍中  
 小切す。美務北と走く逃る。小孫安下祥伊園山のり小逃る  
 時山岐の陰小令鼓とあ。賊の伏去二万の大兵一度小起り。孫安勇戦し  
 く賊の猛將二人付知し。子孫揚の軍軍款の針小指り。孫谷の中小

通入らる。い孫谷ハは石壁とそあふ。賊兵本石とそ谷口は  
 塞と藝端二子の軍とと引く谷と圍と。廣後義大終つてを  
 奪ひ賊と切と一万余人。さうして揚志孫安下祥小軍勢とへん  
 ば解法小小守しむ。さうして次の日伊園山の東谷より進み山  
 尖のあと屋小孫谷中より一獲の人も出さず。さうして山つとふ山頂の東  
 とるく。さうして谷と名け一條のたあ。のさうして谷と名け解法  
 と引。鄒鄒鄒の兵もゆる。賊兵と追拂ひ本石と孫谷中をさ  
 入る。さうして海ひがら出谷小揚志孫安下祥一子の軍馬さふ。此れ  
 られ各樹下小座し。死と待の介ありし。解法小人さうしてさうして  
 獲生す。さうして解法携へ来り。乾糧と揚志小下。人小さうして孫谷に  
 よう切。李孫小ゆり。さうして廣後義大小安堵はしける。さうして王慶新さう



揚志孫安下祥が  
一千の兵馬礮谷  
みろりゝのらる





偽於督杜堂小十二人の猛於二万の云ると添く作戦の城と救りしめ。  
 己小三十里外小見せりと探る報しるる由也。廣徳義烈并武揚志孫  
 立單廷陸魏定五喬乃法馬吳小二万の云と添奉孫の初を告しめ。  
 賊云の賊中より攻まるを防しめ解脫し身務春薛小孫申と  
 告りしめ自二万の云と添杜堂が兵と添人と法つ其の如十里り  
 添紅日ふ山下小令鼓の雷と添賊於逃く押去の賊於南鶴するん  
 小馬と告る。宋軍より山士奇進く戦衛鶴と突殺其賊於都泰  
 大ふ怒り山士奇と戦ひ後前と奔く一箇小山士奇が刃とお輝く  
 下祥走り来く都泰と切殺す時主師杜堂面於と美ひ大ふ怒く  
 紅赤の廣徳義自く親をこ五十符令孫安技人と此去のま賊於卓  
 茂狼牙棍と添くする知ふ孫安一劍小卓茂と切殺し杜堂の腹を

右の確刃と切流せり忽ち馬より流るると廣徳義一途小突殺し大  
 小務と流るる知ふ賊於一人出あり戦りせり申小卓鬼とるとあむ劍と  
 拔正南小向ひ切つるに賊於の如く火と噴出火槍を盛ふして宋  
 軍と燒来る廣徳義驚き避るるもなぐ。使兵大ふ乱れ此と燒發  
 と甚るれ令鼓の陰と接近とられも燒殺さるる女小婦人廣徳義  
 大ふ敗軍し幸とく逃也が下祥後小りれ賊人の火とて縁を槍  
 火とありるより流しと賊云れと突小殺しり。喬乃法けと孫申  
 小く噴槍け来く沖水三味のけと流るる中黒宋奔り暴布と夏  
 小彼妖火と消滅ハ賊於妖術放りるとんく馬と同く逃ると喬乃  
 法追付劍と揮くあ賊とあれ賊云け時大ふ敗れく噴き倒るる者  
 五百餘人喬乃法大ふ喝く流るる者ハゆん背小慶小せんと呼れど賊







るふはた多勢なれば。摩勝小付也。蕭愨安宣令天降のはきま投す  
 ころ。城隍小衆を攻めしう。廣俊義の天兵あると云。只生投すのこ  
 引くまういと。軍に吹く声と放く。蕭愨おが命休すしして。病勢  
 始のまう沈まかり。病おきまき。お辱む。廣俊義同蕭愨あがりし  
 何城小約ある也。軍に渡小咽あう。活しう。蕭愨お我病と同ん  
 くるく来り。又縁く。陳安接の命して。碑石と勒見ぬ死別小歎く  
 左。唐姓小一子結と添く。送く。小料。以今の次牙。何年  
 摩勝馬勢と扱へ。仇と報し。あへ。廣俊義於赤く。北海小島。是  
 用小更へれと。お早り。蕭愨おが扱へられし。こと。後。是。用。後。て。廣  
 俊義と儀。一。居。小。城。の。口。面。と。攻。し。の。雲。杖。小。上。り。城。中。と。居。る。こ。う  
 勢。小。始。り。蕭。愨。お。三。人。と。あ。く。延。す。木。し。お。延。延。せ。け。城。と。お。破。り。民

百姓まで善悪の備あり。唐にせんとい。竹へし。山城の王。於。梁。小。臣  
 おうと。結。お。し。て。在。る。が。け。日。摩。勝。を。勢。が。蕭。愨。お。三。人。と。生。扱。あ。り。と  
 云。え。より。お。ま。子。書。生。の。天。名。と。字。及。べ。け。と。海。東。せ。め。ん。と。自。ら。と  
 郷と解。留。取。見。んと。劫。し。小。三。人。罵。く。多。智。の。城。受。あ。り。我。ら。二。人。が  
 孫。也。と。堪。小。付。ん。と。思。へ。と。あ。れ。速。小。切。と。進。付。守。あ。り。海。け。城。と  
 必。小。ぬ。お。氣。お。ま。の。骨。と。碎。と。可。恥。あ。ん。と。叫。ぶ。と。い。は。海。東。水。怒。て。流。り  
 早。く。あ。成。と。あ。ん。と。望。せ。我。ら。と。慢。く。衣。振。布。ん。と。て。守。士。小。三。人  
 と。杖。し。の。轆。門。の。印。小。加。居。し。け。時。三。人。の。城。と。罵。く。止。ば。城。中。大。勢。立  
 ち。く。つ。ん。る。ぬ。小。杜。士。一。人。姓。を。蕭。名。の。嘉。惠。し。云。老。株。南。の。街。紙。鋪  
 の。西。隣。小。寓。居。せ。り。と。云。の。祖。蕭。蕭。愨。の。南。北。加。の。時。恭。南。の。刺。史。と。し。ら  
 或。時。海。水。堤。と。崩。し。流。小。ま。り。き。る。も。水。仕。あ。れ。ば。二。言。と。ぬ。く。水。と







蕭儀の郷を解済力ある軍士小負せ深水首と提也つふり  
名氏小下知して城破る強と教うめ門と披き吊橋を下うめふ  
器用は時出つと攻く直し城を切く出ると思ひ小口と退けし蕭嘉  
惠もあふ小率とあるとす小余率あくれとあるのるなりおく城  
小入のへとあるを器用兵と引く押入東西南門の軍士及ましれと  
料の盛と卸と強兵し法門小宋と進入只糜駐の勇猛と切  
抜逆失り器用人と考し宋は小始末と告りれ大は收び病の瘡  
る正七八分自の在様し小小技けし葦南城中小入師府小座し  
先百姓と保し蕭年と考し自の蕭嘉惠と上座小法おして云  
壮士の豪拳他人の及ぶあふれ血ぬれ城林と傳し生果  
と保れ我三人の足牙と救ひのりるけ思えり終あじと蕭嘉惠

と還して云此系が能あは能軍民の力と宋はけはと空く益救は  
一之酒宴と役け答意し自の孟と披く蕭嘉惠小初めく云元よ  
り足下の鶴才茂佳何人作がごん系朝廷小奏旨し必は君と考  
友とあふ人蕭嘉惠考し系切名実夫のぬふけ答とぬふ小正  
小今後人志とけく賢良の屈害と考し数は系どれは友守  
の責あり同雲叶轉何との天ふり飛下と流るれば宋は始め救  
でるんはけ日官安教し蕭嘉惠と止とせ釋し去れれば次の日宋  
は戴宗と使し捷と法安接小報りぬ自のれおと持しぬ蕭  
壮士の寓居と流る戸と穿く器用なり講家の紙鋪と考し  
ら蕭生人今朝子天小琴今劍書書と考し子小負しぬ去知と考し  
善人宋は流く心中小暖歌し同し法は小流しぬ奇事と考し感

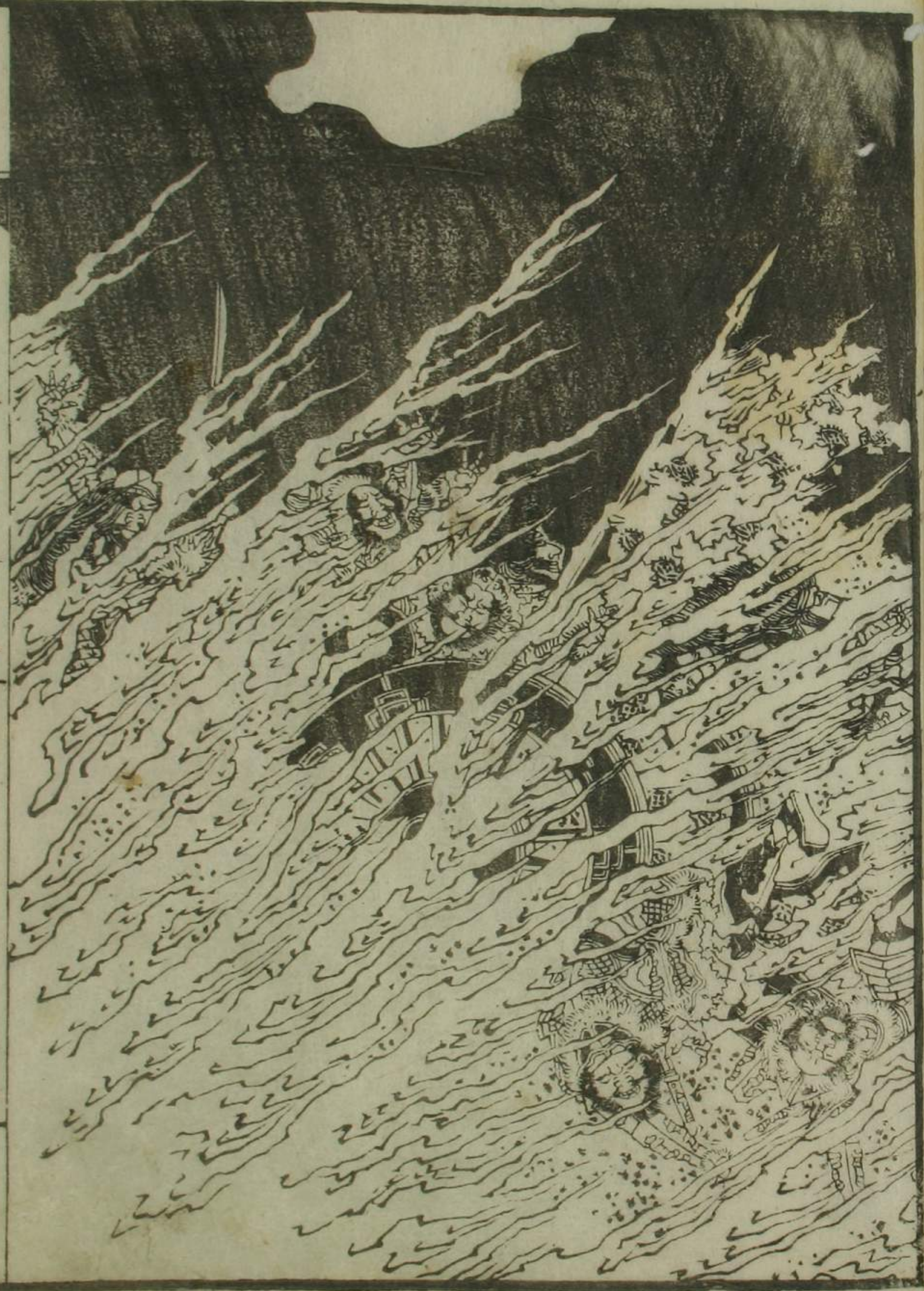












賊將摩利  
糧草と焼ん  
火攻子遇ひ  
殺死す





ころけ時絶母三河より切其まに城を討つる者一万人大に集る  
 る者数多く天明の如く集る者と李愬と合す捷と宋之雄  
 報と宋江大に討つ大去とをんと帳小附去つ令とをせに依り  
 情と多死し大去とをすむ城入王度の中軍統管聞人世出  
 おと水修をさせ雲南別の去馬監制以教と公之修と東  
 川をる監上管義と劉之修と。南軍の統軍李雄畢先と  
 尤小従へ安徳の統軍柳元潘忠と右小従へ統軍大拓及柳  
 使五翔と合後と。樞密方術と中軍の相美と。王度自ら交  
 武の百皮と従へ李物とえ伸と。大去と修と十里の所と攻る

○王度江と度と投る

時小中軍哨汝の去塵土と起り北来る。其先小没相和張清尤

小度英右小葉清あり。城軍より劉の教上官義の二ねお連へお  
 小張清度英降り負く近りと城の二ね追うれば城をさるる先  
 追追のふとあり。石よと抄の名人とをさとつと止り時絶山の  
 後より。夜害と事達樊瑞頂元李竟六百の歩兵と引張崇。劉の  
 教上官義と招く突人とせし。事達未山坡の後小走り引時王  
 度軍中が大字已小劉とを合せ。事達と追ふ小飛と又夫へ。平  
 系張の情小止る。李助令して疎と引ね。知小又山後小夜害  
 に。空自の一後より。張の軍を北出。去と小をむい王英孫立張  
 言又子の言の事と引く。切向人王度故と連へんと世知言と小をむ女  
 尾三姉。劉大嫂孫二姉より。各又子の言の事と従へ。城軍の右小担  
 ころ柳元潘忠と張多れば。南軍の王英孫立張と引城軍の尤



批し一李雄畢先と戦へ皆くみ合戦くはく東へ逃走るを王慶  
 大下多く云。宋はぐまいもど柔弱あるも我をうまじく負らぬ  
 とく。大をと強く又六里より逃れし。忽ち擁軍を連携。頂  
 先李を林中より再び批出さる。後小智智深去松焦挺劉唐お  
 二子のまこと出来まじ。上は義兵と振さお連る。李達お故く  
 ぐり律をて海へお合あく。林の中お逃入ると。王慶をて人く。まを  
 をら追らる。じけ時ゆの山お夷天炮響く。嵩山河と烈なむ。じ  
 山下のより數子の軍を湧出れ。王慶急お疎たどあく。重ん  
 るお。強強甲冑皆五色と人あく。八陣の法を陰狼狄林のどく  
 又一竹の芥絨と並べ。云々の消合軍のりお三足の繡鞍の上  
 お云ハの英雄と成りしむ。左お生冠と戴さ。鶴髦とんせし。入雲

總公孫傍右お倫巾と戴さ。羽扇とせし。智多星星用中央より  
 照夜玉獅子お騰りし。忠あり義あり。膚と平け冠と退る。征西正  
 史海。山東の及時雨宋公明自ら。多身結あ。多お得緒の判  
 と操。中軍と掌扱は。左お神行天傑。戴宗も。飛報と至り。李  
 治も。燕喜も。机密のまこと。後お三十人の猛將馬よお。漆  
 と挺へく。批らる。尤右お画角と吹令鼓と鳴り。陳智十分お。估く  
 嚴格なる。鬼神も。故抵へく。ざる。形勢の軍。天子王慶を。李助と  
 同く。宋軍の軍威を。人く。深く。響の歌。しる。怨お。宋軍陣を。奔し  
 突来ら。殺ふ。を。勢ひ。破舟のどく。絨拍と。戦と。始る。ふ。宋將の。尖ある  
 と。電のどく。林冲絨拍。柳えと。切落し。黃信一劍。小潘。右と。切殺せ  
 ぐ。絨拍。忽ち。乱さ。立王慶。急お。まを。退んと。まじ。宋陣。覆じて。忽ち



長蛇の伎となる。王慶軍と退ることも能はざれば李物と計つて軍  
 士とて戦ひて揚雄城を段々と切敷し、石秀の兵と切敷  
 し賊軍敗軍す。王慶いと馬と止めし又一方の砲雷を言智  
 源武に李逵ハ八人の猛將向ふ。李雄畢先と知し残りしは  
 又右より張清王英攪英扈三娘孫立お出く切まると凡と割  
 菜と切しあはれ城を四方八面お散乱しおろ者幾万とあはれ  
 廣後義揚雄石秀と從へ中軍少丸入旁筋と切敷し。王慶  
 扱人とす時令劍先生李物馬止お劍と扱と制電のぞく廣後  
 義も款す。能は公孫勝違ふ。兎文と唱へ夜とつて李  
 物劍の中と離れ死に地止お猶地と居る。廣後義死に李  
 物と引扱馬より扱し怪と友勢あり。軍士お縛せ。中軍

と切敷せば十餘万の大を六七分ハ切敷され豫東の者三百餘人割  
 敷上官義も然擬おあはれ李雄の復英お石おあはれ畢先ハ王定六  
 お突敷も偽高書人お軍お出る者あり。王慶と入江  
 先てび軍と收め張清攪英お子の言と流もあふ向へ裁字  
 南をふせ。孫安が消息とせしむ神々の法とて半時ごうお取  
 り。孫安も君の命と承目し王慶が部下拾し歎く城と奪ん  
 とて知却し城お知し城の東門中お併完と握りごと欺れ  
 る律しと東門と完と守へし孫安お促し梅王を夜揚芳畢  
 務潘迅馮昇胡邁お五百の人多し引替我えおと門内おをこ入  
 しお助く穴お落入しと左右の伏え一度お起り長塗利劍を以て  
 百の人馬敷くお突敷し。孫安の書い後へお逃しとれら







と脱去。日月絶。絶。玉帛。雲根靴を捨く。中。懐。草鞋。と。登。又。近  
 侍あり。夜。甲。と。捨。喪。家。の。物。の。ぐ。く。小。舟。より。東。川。小。舟。ひ。て。行。く。  
 人。多。病。ま。後。中。帆。れ。せ。百。姓。ら。礼。と。避。市。井。村。坊。人。烟。あ。く。驚。突  
 の。あ。う。後。く。ん。べ。彼。合。と。お。ん。知。な。し。從。ま。脚。く。去。く。僅。小。只。主。後。井。結  
 ぐ。り。喚。ふ。雲。安。迎。き。完。別。中。如。り。け。け。起。一。の。大。江。あり。源。達。別。の。力  
 項。沛。り。出。清。江。と。名。く。王。慶。船。と。求。へ。と。す。ふ。向。の。岩。迎。苦。源。と。怨。ふ  
 漁。船。數。く。あ。り。申。や。あ。れ。せ。日。暖。ふ。風。微。う。く。魚。を。捕。又。網。を。晒  
 き。も。あり。中。流。小。一。双。の。漁。舟。を。酒。と。飲。解。く。唄。ひ。或。く。精。奉。し。く  
 業。を。互。々。れ。ば。王。慶。是。と。り。く。嘆。か。て。云。我。今。日。う。く。困。ぐ。は。樂。ふ。あ。り  
 ば。と。近。侍。叶。く。船。と。解。我。あ。と。後。せ。法。と。茶。と。飲。源。人。使。く。内  
 櫂。と。り。お。並。船。と。漕。舟。子。云。王。慶。と。り。く。ま。三。回。あ。く。あ。れ。と。

云。王。慶。漢。人。と。り。く。小。舟。の。夫。八。天。眉。浪。浪。大。あ。く。く。お。う。陸。の。物。け。け  
 時。近。侍。小。王。慶。と。り。く。上。下。先。紅。小。舟。あ。れ。ば。を。解。舟。と。ぬ。く。岩。と。り。く  
 船。あ。く。一。丈。鐘。り。物。ま。六。岩。お。結。る。近。侍。お。叱。て。い。ん。と。我。お。と。棄。て。り  
 や。あ。く。船。と。成。せ。と。叫。べ。も。又。お。言。は。中。流。小。搖。物。く。巾。着。と。抛。捨。双  
 手。小。王。慶。と。投。く。船。板。の。上。担。け。れ。ば。王。慶。大。お。驚。き。さ。り。け。れ。も。遂。に  
 生。投。ま。ぬ。急。と。捕。網。を。曝。せ。漁。人。あ。れ。は。解。と。り。く。ま。三。回。あ。く。あ。れ。と  
 飛。上。り。王。慶。が。近。侍。と。を。奪。く。郷。多。り。系。系。船。と。漕。く。江。泥。江。流。舟。後  
 櫂。と。き。く。の。重。威。を。得。の。漁。人。は。皆。水。軍。の。兵。起。す。之。軍。江。の。合。あ。く。  
 前。月。より。多。く。水。軍。と。戦。く。織。軍。の。お。云。聞。人。世。宗。胡。僧。と。戦。く  
 ひ。し。ぞ。大。お。お。驚。く。聞。人。世。宗。と。切。殺。く。胡。僧。と。生。投。く。が。胡。僧  
 が。貌。凡。あ。く。ん。べ。李。俊。義。お。仗。く。乞。と。救。く。胡。僧。又。を。恩。と。感。く



東後と同じく雲南城の川より入城まの御徒と殺し城を  
 奪ひ又李俊思々々王慶放走せし雲南城東川一過とありし強  
 横張小城とありし自二既二重と徳人の貌とありしは小お侍  
 小果して今日扱へるは皆々重南城とありし李俊の御徒胡  
 俊と同じく王慶と押遣し主役を引くも南城を御徒申ふ  
 く南城を城とせしは御徒申ふに南に王慶と  
 おりし李俊思々々知れし報とせし大お侍小俊が大城と殺し  
 久李俊御徒胡俊と云ふは御徒とありしは南に王慶と  
 重安と奪ひしと云ふは又南に東川安徳と攻るも御徒と  
 以時胡俊を御徒東川の御徒胡俊の御徒ありしは御徒と殺し  
 下。東川より安徳の風と御徒とありしは南に御徒御徒は

胡俊と東川を安徳と又戴宗と御徒と殺しと云ふは  
 宿を尉へりし書札と持しは陳安徳の御徒ありしは御徒と

○宋に冠と刺切と成

次の日宋に自王慶の御徒中ありしは御徒と殺しと云ふは  
 御徒と殺しと云ふは御徒と殺しと云ふは御徒と殺しと云ふは  
 今に城中の御徒と焼拂りしは御徒と殺しと云ふは御徒と殺しと云ふは  
 二を御徒と殺しと云ふは御徒と殺しと云ふは御徒と殺しと云ふは  
 も大お侍自も又表と書し戴宗小お侍早速東を御徒と殺しと云ふは  
 あり。宿を尉の御徒中ありしは御徒と殺しと云ふは御徒と殺しと云ふは  
 親大お侍御徒と殺しと云ふは御徒と殺しと云ふは御徒と殺しと云ふは  
 淮西の市お侍又お侍遭狼咽の御徒と殺しと云ふは御徒と殺しと云ふは



功ありて付死せし然れども各進号と賜ひ。府のありありありと  
 新友と号し任代して功あり然れども飯系の後、黄もどしと勅云あれ  
 ば。我系も是と有り。もどし。陳安接の南。城。入。胡。後。ハ。胡  
 敵と拒き。城。地。後。程。と。皆。れ。ハ。安。徒。の。賊。人。も。得。り。母。も。血  
 め。ぐ。り。後。の。ハ。胡。後。が。功。を。是。より。十。余。日。と。登。り。東。系。より。勅。使。來。ま。さ  
 ば。陳。安。接。家。に。明。勅。定。と。有。り。次。の。日。勅。使。ハ。東。系。も。同。く。扱。軍。士  
 小。命。し。版。二。昨。事。物。も。多。く。の。賊。徒。と。引。出。し。南。系。の。市。も。亦。於。て  
 斬。り。し。め。首。を。と。白。鳥。し。ら。人。も。入。り。し。め。陳。安。接。家。に。ハ。胡。後。接。應  
 孫。安。が。功。と。記。し。し。め。擄。と。出。し。て。百。姓。と。安。ん。じ。あ。れ。れ。が。王。慶。が。孫。し  
 八。十。六。ヶ。石。の。州。縣。も。雲。と。披。く。再。び。天。日。と。振。す。る。地。と。あ。れ。け。時。不  
 と。と。あり。既。外。も。新。友。と。交。代。し。各。南。系。も。亦。り。各。家。に。在。平。宴

と。設。ら。れ。お。と。度。加。し。と。守。と。号。ひ。又。と。孫。接。喬。及。法。と。と。七。日。七。夜。の  
 醜。事。と。あ。り。孫。中。あ。て。亡。び。孫。の。人。乃。退。善。付。善。と。あ。り。あ。り。り。時  
 孫。安。軍。中。中。あ。り。孫。の。病。と。死。し。し。め。宋。江。大。水。想。と。孫。の。州。小。葬  
 じ。む。と。い。は。番。及。法。ハ。十。分。小。痛。果。し。宋。江。小。告。孫。安。と。同。く。と。初  
 年。より。交。り。孫。の。原。し。彼。り。又。の。仇。と。報。ん。る。罪。と。犯。し。身。と。城。中。小  
 溜。入。り。し。し。め。孫。の。先。海。の。空。仁。と。胡。廷。の。長。と。成。法。ハ。ハ。物。身。も。成  
 べ。と。ふ。今。中。乃。小。死。せ。り。と。孫。の。と。孫。と。孫。止。小。汝。し。磨。り。小。か。り。と。孫  
 先生。の。美。心。と。孫。安。接。が。善。と。孫。の。名。と。孫。の。小。彼。今。日。已。小。死。し。我。孫  
 り。孫。接。と。交。り。小。思。ひ。と。孫。の。原。心。小。孫。の。骨。子。徹。し。と。孫。の。と。孫  
 親。り。ハ。田。野。小。同。り。て。孫。生。と。と。孫。と。と。孫。の。人。と。と。孫。の。大。も。是。と  
 孫。の。孫。の。孫。法。作。と。同。く。と。孫。と。と。孫。の。孫。に。孫。接。と。と。孫。の。孫。

新編水信畫傳卷之八拾

七十一





竹編火舟三尊末之八合



宋江太平宮宴  
と設けらる様と  
献酬と

師道山片  
良節之  
る権田庵  
と又園

新編水滸傳卷之八















八人の豪傑は進んで討死す。その中流石のめりりまゝくも。九編目ふ  
洋なり

新編水滸画傳卷之八拾畢

八編之尾

# 和漢 西洋 書籍 賣捌 處

神書佛書醫書國史

繪本 新古賣買

## 群玉堂河内

後醍醐三休指西入  
河内屋孫文衛



